

令和3年度 放課後等デイサービス事業所「いるかデイ中屋敷」自己評価及び集計について

1 目的 ・ 事業者による自己評価と、保護者等によるユーザー評価を行うことで、日々の支援の在り方や業務について、検証し改善を行いサービスの質の向上と充実を図る。

2 調査機関 令和3年9月13日(月)～10月15日(金)

3 対象者 ・いるかデイ中屋敷 職員 3名 回収率 100%

4 実施結果

(1) 事業者 事業者向け放課後等デイサービス自己評価表・集計表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	3			プレイルーム毎に活動を分けている。
	②	職員の配置数は適切であるか			3	常勤職員の欠員あり。人手が足りない(特に運転)。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		1	2	・通常の民家を事業所に行っているため、段差などがある。 ・手すりや踏み台を設置している。
業務改善	④	業務改善を進めるための、PDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか		1	2	・法人の課題として関係しているものも多く、当事業所だけで改善するのは難しい。
	⑤	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意見を把握し、業務改善につなげているか	2	1		・事業所内で改善できることについては、常日頃から取り組んでいる。 ・法人の課題として関係しているものについては、当事業所だけで改善するのは難しく、進んでいない。
	⑥	自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	2	1		・自己評価表をHPに掲載している。 ・毎月発行している通信は、利用者の各家庭、関係の学校、事業団施設内に配布している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1		2	・第三者による外部評価は、行っていない。
	⑧	職員の資質の向上を行うために研修の機会を確保しているか	1	1	1	・事業所内での虐待防止研修を実施している。 ・外部研修に参加する時間の確保が難しい。また情報の確保も難しい。
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	2	1		・年2回個別面談を実施している。 ・連絡帳による保護者からの情報、送迎時や普段の利用者の様子、日々の職員ミーティングなどの情報も考慮している。 ・サービス等利用計画(またはセルフプラン)の提示がされていない利用者が多い。

⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	2	1	・法人内の、他の放課後等デイサービス事業所と共有しているアセスメントシートを使用している。
---	---	---	---	---

適切な支援の提供	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	3			・支援会議、職員会議、毎朝のミーティングで話し合い、実施している。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	3			・利用者の様子に合わせて、臨機応変に実施している。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	2	1		・直接支援に関しては、平日や長期休業等に実施している。 ・休日利用に関しては、課題があり実施するのは難しい。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	3			・個別の活動と、集団の活動については、時間で分けて、利用者が負担なく参加できるように工夫している。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	3			・活動の内容や利用者の状況をふまえ、役割分担を口頭で連絡している。 ・プレイルーム内のホワイトボードに掲示している。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	3			・支援終了後、翌日の職員ミーティング等で、情報の共有をしている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	3			・個別ケース記録への記載、支援会議、職員会議での話し合い、内容の記録を行っている。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	3			・個別面談等の保護者からの情報の他に、日々の利用者の様子や、関係機関からの情報を参考にし、必要に応じて見直しをしている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	3			・運動、感触、制作、集団、個別等の活動を行っている。
		⑳	障害相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしいものが参画しているか	3		
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	2	1		・担任等と学校送迎時や電話で、情報の共有をするように努めている。しかし連絡しても担任等が業務中で連絡がつかないことや、支援に関する認識の違いや、個人情報などのしぼりがあり、情報の共有が図りにくい状況である。

関係機関や保護者との連携	⑳	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	2	1	・医療的ケアが必要な利用者はいない。
	㉑	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	3		・法人内の児童発達支援センターや、事業所と情報共有に努めている。
	㉒	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から他の福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	2	1	・相談支援専門員と連携して情報交換を行っている。
	㉓	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	1	・連携しての研修等は行っていない。
	㉔	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		3	・機会を設定した交流は行っていないが、近隣の公園等に行った際に、関わることもある。
	㉕	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	1	2	・参加していない。
	㉖	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っているか	3		・デイでの様子の他に、学校の送迎時に担任等から申し受けたことや様子などについて、連絡帳や自宅送り時などを利用して保護者に伝えるようにしている。
	㉗	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		2	1
保護者への説明責任等	㉘	運営規程、支援内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	3		・利用契約時に文書と口頭で、保護者に伝えている。また、変更があった場合には、文書を配布し周知に努めている。
	㉙	保護者から子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	3		・送迎時や連絡帳、電話、個別面談等を利用して、その都度受け付けている。さらに必要に応じて、相談支援専門員や学校とも連携し、支援を行っている。
保護者への説明責任等	㉚	父母の会活動を支援したり、保護者会を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1	2	・保護者会はない。今後の課題である。
	㉛	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備すると共に、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	1	2	・個人情報が含まれる事案については、公開せず対応している。 ・苦情については、所長や全職員に報告し、適切な対応をするよう努めている。
	㉜	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	3		・毎月1回通信を発行している。写真等を多く掲載し、活動の様子が分かりやすいように努めている。
	㉝	個人情報に十分注意しているか	3		・通信等に掲載する写真については、掲載の有無についての同意書を交わしている。
	㉞	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のために配慮しているか	3		・具体的で、分かりやすいように提示の方法を工夫しつつ、個々に合った配慮を行っている。

寺	⑳	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		3	・行事への招待は行っていないが、利用している公民館の管理者や町内会長と挨拶等を交わすようにしている。
非常時等の対応	㉑	緊急対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	3		・避難訓練や注意しておくべきことがあった際など、その都度、職員ミーティングで話し合い、確認し周知するようにしている。 ・感染症マニュアルは、絵や図を用いて、分かりやすく提示している。
	㉒	非災害の発生に備えて定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	3		・毎月1回避難訓練を行っている。いろいろなケースを想定して計画を立てている。
	㉓	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	2	1	・虐待防止研修は行っているが、虐待事例が発生した場合の対応マニュアルがない。
	㉔	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了承をえた上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	3		・必要な場合には、支援会議で話し合い、個別支援計画に明記し、保護者に説明、同意を得ている。
	㉕	食物アレルギーの子供について、医師の指示書に基づく対応がされているか	2	1	・医師からの指示書はないが、保護者からの受診した際の結果をもとに対応している。
	㉖	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	3		・ヒヤリハットの記録を取り、その都度職員で回覧し、改善に努めている。
合計		90	16	23	
割合 (%)		70%	12%	18%	

<総括>

・平成26年4月に開所してから8年目になります。開所当時、新1年生だった児童も中学2年生となり、大きく成長する中で活動の幅も広がりました。全体的活動、個別的活動や宿題、休養等のできる各室の環境を整え過ごしやすく居心地の良い活動の拠点になるよう努めています。また、今年度は新型コロナウイルス蔓延に伴い、近隣地域の児童公園、自然散策路、イベント参加、公民館、図書館、公共施設等々の利用を控える時期がありました。しかし、今後も、機会があれば社会資源を有効活用し、子供たちが地域の中で意欲的な活動ができるよう取り組んで参ります。

・自然災害等が懸念される中、緊急時の対応等については、保護者の方と連携し、周知徹底していく必要性を強く感じています。

・相談支援専門員、利用しているサービス等の事業所、学校関係等の関係各機関との連携を進め、情報共有の場となる諸連絡会やケア会議等に向けた体制づくりの充実が必要だと思えます。

令和3年度 放課後等デイサービス事業所「いるかデイ中屋敷」自己評価及び集計について

- 1 目的 事業所による自己評価と、保護者等によるユーザー評価を行うことにより、日々の支援の仕方や業務について、検証し改善を行うサービスの質の向上と充実を図る。
- 2 調査機関 令和3年9月13日(月)～10月15日(金)
- 3 対象者 月3回以上の利用保護者18人依頼し、回答のあったのは18件(回収率100%)
- (2) 保護者 保護者向け放課後等デイサービス評価表・集計表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見
環境・ 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	16	2		・見ていないのでわからない。 ・ワンルームではないので、子どもがパニックになった時など、落ち着くまで個別に対応していただくので、大変うれしく思っている。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	13	5		・女性職員を増やしてほしい。 ・今は人数が少ない(産休などで)と伺っていたので、大変そうだなと感じた。早く、人の補充がされればいいと思う。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	11	7		・わからない。 ・この点は把握していない。
適切な 支援の 提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	18			
	⑤	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	17	1		
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や障害のない子どもと活動する機会があるか	2	12	4	・放課後等デイサービスでは、交流がなくてもよいと思う。 ・わからない。 ・新型コロナウイルスが流行中なので、どちらとも言えない。
	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされているか	17	1		・連絡帳を見ると、子どもが何をしていたかわかる。また、帰りの際にも、子どもの様子を教えていただけるので、安心できる。
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解できているか	17	1		

⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	16	2	・新型コロナウイルスが流行中なので、どちらとも言えない。 ・ひらがなや数字の理解度を共有することで、子どもは活動に参加することができた。
---	---------------------------------	----	---	---

保護者への説明等	⑩	父母会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2	7	9	・それぞれ仕事もあると思うので、特に必要性を感じない。 ・新型コロナウイルスが流行中なので、どちらとも言えない。 ・他の保護者さんとの交流はなかなか難しい。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	13	5		・苦情を言うことがないので、どちらとも言えない。
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のために配慮がなされているか	16	2		・連絡帳に、しっかりとコメントがかえってくるので、職員の方々に読んでいただいていると思い、安心できた。
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信している	16	2		
	⑭	個人情報に十分注意しているか	18			
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	16	2		・近くに雫石川があること、防災について意識が高いと判じた。
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難訓練、救出、その他必要な訓練が行われているか	16	2		
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	18			・長期休業中も、ドライブや工作、DVDを観たりと、楽しくいるかに通うことができていたと思う。
	⑱	事業所の支援に満足しているか	18			・好きな遊びをさせてもらい、同じような遊びが好きなお子さんと関わらせてもらえることで、人との関わり方も上達してきていると思う。
合計			260	51	13	
割合%			86%	16%	4%	

<総括>

・平成26年4月に開所してから8年目になります。開所当時、新一年生だった児童も中学2年生となり、大きく成長する中で活動の幅も広がりました。全体的活動、個別的活動や宿題、休養等のできる各室の環境を整え過ごしやすく居心地の良い活動の拠点になるよう努めています。また、今年度は新型コロナウイルス蔓延に伴い、近隣地域の児童公園、自然散策路、イベント参加、公民館、図書館、公共施設等々の利用を控える時期がありました。しかし、今後も、機会があれば社会資源を有効活用し、子供たちが地域の中で意欲的な活動ができるよう取り組んで参ります。

・支援内容や職員の対応等について、今年度の評価でも多くの保護者の方々が好意的に感じていただいている結果となりました。私たち職員は、これからも安心・安全なサービスを提供できるよう職員の資質の向上に努めて参ります。

・自然災害等が懸念される中、緊急時の対応等については、保護者の方と連携し、周知徹底していく必要性を強く感じています。

・保護者の方々と職員が連携することは、子どもの個性や可能性を理解し合い、より良い事業所を創っていく必要性を感じます。